



東松島市教育委員会に 日本語講座テキストを贈呈

特定非営利活動法人教育ルネッサンスは1月23日、東松島市教育委員会に日本語講座テキストを贈呈しました。このテキストは日本語検定委員会の協力のもと作成されています。

教育ルネッサンスは、震災ストレスメンタルケア及び学習支援事業を実施しています。この事業では、東日本大震災で心のケアを必要とする多くの人に、メンタルケアと学習支援活動が行われています。今回、児童生徒へのサポートとして、教育ルネッサンスの田邊弘美理事長から東松島市教育委員会の工藤昌明教育長に日本語講座の初級、中級のテキストが贈られました。

贈呈式では田邊理事長から、「これまで、被災地の大人向けにメンタルケアを続けてきました。『そのような中、子供向けに何が出来るか?』と考えてきました。子どもたちを見ると、自分の意見を表現できないナイーブな子が多いと感じます。そのような子どもたちに自信をつけさせるためには、語彙力を強化させることが大事です。日本語の学習を通じて考え方を広げるトレーニングを積んでもらい、子どもたちが前向きな気持ちになってもらえたらという思いから贈呈に至りました」と贈呈理由が話されました。

工藤教育長からは、「たいへんありがたく思っています。言葉はいじめや体罰といった問題にもかかわるもので大事にしなければいけません。子どもたちが相手に説明できる力をつけることが、諸問題を解決するきっかけになります。配布された小学校では教材を有効活用して欲しいと思います。また、東松島市では『心あったかイートころ運動』と称して、子どもたちにあいさつ等を励行させています。この教材と本運動が相乗効果を発揮することを期待しています」とお礼が述べられました。



工藤教育長（左）に日本語講座テキストを贈る田邊理事長（中）、
右はNPO法人ケアリングフォーザフューチャーファンデーションジャパンの金須健東松島市駐在スタッフ